

東京2025デフリンピックキャラバンカー表敬訪問

8月19日(火) 所安芸高田市役所本庁
主催 一般財団法人 全日本ろうあ連盟

11月15日(土)から開催される聴覚障害者のための国際的なスポーツ競技大会「デフリンピック」。日本で初開催されるこの大会のPRのため、広島県ろうあ連盟の表敬訪問を受けました。副市長、教育長が出迎え、手話で交流しました。



防府市こども文化祭

8月30日(土) 所三友サルビアホール(山口県防府市)
主催 子ども文化祭実行委員会

子どもたちが主役の「こども文化祭」。3回目を迎える今年は、防府市の姉妹都市である本市からの友情出演として、八千代子ども神楽団が出演しました。遠く離れた地で日頃の練習の成果を発揮し、大勢の観客の前でたくましい舞を披露しました。



あきたかたエンタメマルシェ

9月7日(日) 所道の駅「三矢の里あきたかた」
主催 広島エレガンス倶楽部

松本裕見子さんを中心とした広島ローカルタレントたちのフリーマーケットのほか、ビンゴ大会、ミニ縁日など盛り沢山。さらに、ファッション雑誌「LEON」専属モデルのジローラモさんが、ジロー米や日本の農業、古民家について語ってくれました。



LPガス等研修会

8月21日(木)・22日(金)
所安芸高田市消防本部

広島ガス高田販売株式会社の職員を講師に招き、ガスボンベや太陽光パネルの種類や構造、火災や漏えい事故発生時の対応策や注意点を学びました。いざという時に適切な対処ができるようになるため、消防署職員34人が参加しました。



安芸高田リユース市in旧来原小学校

9月7日(日)
所旧来原小学校

学校に残っていた机や椅子、体育館の備品などを販売しました。当日は約800人が来場され、大盛況でした。また、リユース推進の一環として、メルカリShopsで不要物品を販売している「ヤクルト山陽」も参加しました。



外国人とボランティア交流

9月7日(日) 所安芸高田多文化共生センターきらり
主催 吉田地区振興会

インドネシアやベトナム、ブラジルの方々や吉田地区の住民など計53人で「きらり」グラウンドの芝刈りと草取りをしました。清掃後はインドネシアと日本の手作り料理を楽しみながら自己紹介や料理の話をするなど、なごやかな交流会になりました。



第6回 安芸高田こども神楽発表大会

9月15日(月・祝) 所神楽門前湯治村
主催 安芸高田子ども神楽発表大会実行委員会

「浦安の舞」「紅葉狩」「悪狐伝」「羅生門」「塵倫」「鈴鹿山」など、大人顔負けの迫力ある舞が披露され、会場は大きな拍手に包まれました。子どもたちは日頃の練習の成果をしっかりと発揮し、真剣な表情と熱演で多くの観客を魅了しました。



ユースエール認定企業 認定通知書交付式

9月22日(月) 所株式会社熊高組
主催 厚生労働省広島労働局(ハローワーク安芸高田)

若者の採用・育成に積極的に取り組み、雇用管理の状況が優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する「ユースエール認定企業」に、安芸高田市で初めて株式会社熊高組が認定されました。



インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025

9月28日(日) 所クリスタルアージュ
主催 (公社) 広島県パラスポーツ協会
インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025実行委員会

廿日市市をメイン会場に県内4か所で開催。本市ではボッチャ(重度の障害を持つ人々のために考案された競技)が行われ、参加者は障害の有無に関わらず誰もが楽しめるスポーツを体感しました。



きらりんフェス 2025

9月21日(日) 所多文化共生センターきらりとその周辺
主催 きらりんフェス2025実行委員会

国際交流をテーマに、多彩な催しが行われました。各国の料理ブースでは世界の味を堪能し、ステージではブラジルやミャンマーのダンスが披露されました。さらに外国の調味料や雑貨販売などもあり、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめました。



第48回 美土里神楽発表大会

9月27日(土) 所神楽門前湯治村
主催 第48回美土里神楽発表大会実行委員会

美土里町の神楽団13団体が集結する、年に一度の恒例行事。各団体の個性あふれる演舞を目当てに、会場には多くの神楽ファンが訪れました。澄み渡るはやしの音色とともに大きな拍手が響き渡り、熱気に満ちた一日となりました。



第42回 小原ふれあい感謝祭秋の会

9月28日(日) 所旧小田小学校校体育館
主催 小原地域振興会

75歳以上の方への感謝を伝えるため、神楽鑑賞や健康体操、会食やカラオケを行いました。高齢者同士はもちろん、異世代と触れ合いながら、地域全体で健康長寿を祝い、生きがいつくりにつながる温かなひとときとなりました。

